

# 自分をさがす

工学部・建設工学科・教授 **みず** **くち** **ひろ** **ゆき**  
**水** **口** **裕** **之**

入学おめでとうございます。新入生の皆さんはこれから始まる大学生活への期待に胸をふくらませていることと思います。

## 大学とはどんなところ

皆さんは大学とはどのようなところか考えたことがありますか？ 私は、皆さんがそれぞれの人生を豊かに過ごす力をつける貴重で有力な一つの場所であり、期間であると考えています。大学は多くの知的な出会いが詰まっているすばらしいところ。しかし、これには、その気にならないと出会えないものです。

## まず「自分」を知る

大学では、よく「目的を持って学べ」といわれます。あるいは、「自分の生き方を見つける」ことの重要性を強調する人もいます。これには、「自分のことが判っている」ことが必要です。既に「自分」を見つけている人もいます。既に「自分」を見つけている人を見つければ、これから「自分のことを判ろうとする」諸君や、大学の途中で「自分というものがよく判らない」ことに悩みはじめると諸君もいると思います。「自分」の自覚・発見が早いほど、自分の興味や自らの目標に向かいやすく、大学を多いに活用して、学生生活を充実させることができます。つまり、「自分」を発見して、目標を持って学生生活を送ったかどうかによって身につけることが大きく違って

きます。

## 「自分」を知る方法1

「自分」を発見する方法にはいくつかあります。比較的短時間に独りで「自分の考えを知る」方法として、一般の新聞のスクラップを薦める人がいます。面白いと感じた記事や、将来もう一度見たくなりそうだと思う記事や、どんどん切り抜きます。惜しげもなくどんどん切ると、面倒でもとりあえず1か月は続けるのがコツです。そうすると、多くの人は、最初の1週間と、最後の1週間とでは、後になるほどずいぶんスクラップが少なくなります。それは、最初はあれもこれも大事と想っていたのが、次第に減ってきて、限られたものしか切らなくなるからです。

それから、さらに2か月、合計3か月間、同じようなスクラップ作業を続けると、比較的限られたテーマしかスクラップしていないことに気がつきます。つまり、興味・関心があるテーマだけ残ったわけです。それによって、自分がどんなことに興味を持っているのが、相当鮮明すなわち「自分発見のきっかけ」になると思えます。

## 「自分」を知る方法2

心から気を許せる友人を持つことが前提となりますが、そうした友人をつくって時間をかけて話し合う方法もお奨めで

す。折りにふれて率直に話し合うことで、「主観的な自分」のベールがはがされ、「他人から見た自分像」が見えるようになり。話し合う友人が親密なほど、外観だけでなく内面の自分について話し合う機会が多くなり、そうした友人が自分の素顔を掘り出してくれます。そのため、そうした心を打ち明けあえる友人を早くつくること、時間をかけて語り合うことが大切だと思います。

## 「自分」を知る大切さ

将来、社会で生活するには、「自分とは何か」、「自分はどういう生き方をしたのか」、つまり、自分で自分のことが判断できる主体性と判断能力を身につけていることが必要です。その前提が「自分」であり、自分を客観的に分析できる力つまり「自己分析能力」を身につけておくことが重要です。これも、その前提であり基本でもある「自分」の自覚・発見が必要になると思っています。

大学では、まず「自分」を見つけて、また、見つけた知的活動を楽しみ、多くのことを身につけられることを願っています。

皆さんが、本学で多くのことを学ばれ、有意義な学生生活となるよう心から期待して歓迎の言葉と致します。